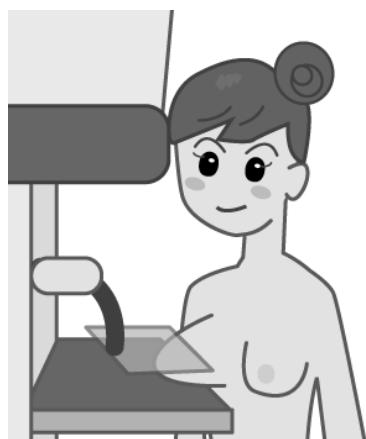
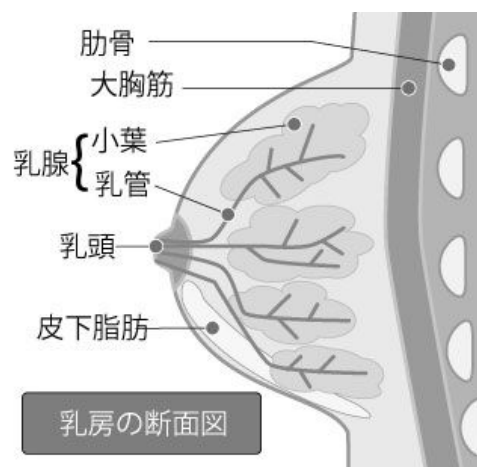


マンモグラフィ検診について

マンモグラフィとは、乳房のレントゲン線撮影のことです。専用のX線装置やフィルムを使って撮影します。マンモグラフィでは、乳房のたいていの病気を見つけることができます。また、しこりが触れる場合、それが良性か悪性（いわゆるガン）かどうかを判断します。また、しこりとして触れないごく初期の乳がんを見つけることもできます。

マンモグラフィ撮影の実際は、まず、上半身裸になっていただき、両方の乳房を、方向を変えながら2枚ずつ、計4枚撮影します。撮影は女性の技師が担当します。このとき透明な板で乳房を挟んで強く押さええます。乳房を圧迫しながら薄く均等に広げることで、少ないレントゲン量で乳房のなかをより鮮明に見ることができます。ですから、きちんと圧迫して乳房を薄く平らにすることはとても大切なことです。

圧迫にともなって痛みを感じることもあります。リラックスすることによって痛みが軽減されることもありますので、力を抜いて検査を受けましょう。また、圧迫による跡が残ることもありますが、数日でなくなりますので特に心配ありません。



ネックレス等は外して頂きます。また、防臭、制汗剤は乳房に付着したパウダー他が写り、異常所見と間違われることがありますので、使用しないで下さい。間違ってしまった場合、当日は拭き取らせていただきます。髪の毛が写真に写り込むこともありますので、髪の毛の長い方は結んで下さい。

マンモグラフィはX線検査ですから放射線被曝があります。1回の撮影で乳房が受ける（吸収する）放射線量は、東京からニューヨークへ飛行機で行くときに浴びる自然放射線（宇宙線）の量の半分程度です。また、乳房だけの部分的なものなので放射線による発がんや白血病などの心配はありません。

検査結果は、マンモグラフィ読影専門医が診断、約1～2週間後の報告になります。

他にご心配な点がありましたら、撮影を担当する診療放射線技師にお尋ねください。

<マンモグラフィ検診に適さない方>

次のような方は、マンモグラフィ検診の対象から除外しています。超音波検査で実施可能な場合もあるのでお申し出下さい。

- × 妊娠中又は妊娠の可能性のある方
- × 授乳中の方
- × 背中が曲がっていたり、まっすぐに立ってられない方（10分程度）
- × 乳房内に人工物が入っている方（豊胸術など）
- × 体内に、心臓ペースメーカー、V P（脳室 腹腔）シャント、ポートなどを埋め込んでいる方
- × 胸部外傷（肋骨骨折、打撲等）で治療中の方
- × 乳腺疾患で治療中又は経過観察中の方

医療法人社団撫子 高松メディカルクリニック
クリニック0422-70-1035 健診センター0422-70-1037

（2013/12/07作成）